



埼玉県立浦和西高等学校
Urawanishi High School

発行日 平成28年11月28日

学校通信 ～西高は今～

発行責任者 校長 高野 能弘

HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

11月の西高での出来事をお伝えします。
54年ぶりの11月の雪には驚かされました。

若者たちの素晴らしさ

校長 高野 能弘

1年程前のことでしょうか。明治神宮外苑をあてもなく歩きました。このあたりは霞ヶ丘と呼ばれ、昭和39年(1964年)に東京オリンピックが開催された国立競技場があった千駄ヶ谷からの道を懐かしく辿りました。

国立競技場は2020年開催の東京オリンピックのために解体され跡形もなく更地が残っていました。国立競技場は私が若かりし頃、高校・大学のインターハイやインターカレッジの大会に出場した懐かしい競技場で5万人を収容するスタンドを吹く、気まぐれな風に悩まされたのを今でも思い出します。

そのあと、明治神宮野球場の脇を歩いていると聞きなれた校歌が流れてきて六大学野球の早慶戦が始まろうとしていました。

さて、早稲田と慶応のどちら側のスタントに入ろうかと一瞬迷いました。そういえば以前勤務していた高校の教え子が早稲田大学に進学し、応援団に入って苦労していた時に相談を受け、「一度始めたことなら最後までやってみろ」などと勢いに任せてアドバイスしたのを思い出し、早稲田側の外野席に入りました。ちなみに彼はのちに応援団の幹部を務め、現在、新聞社に勤務しています。

選手のきびきびしたプレイや応援団のリード、チアの華やかさなどを目の当たりにし、すがすがしい気分になりました。それから隣の老人が応援の際に肩をガッチリと組んできて、私はOBでもないのに応援歌を歌う集団の一員となっていました。

熱戦を観戦し、若者のほとぼしるエネルギーと一途に取り組む前向きさを肌で感じ、心地よい疲労感とともにスタジアムを後にしました。何とも言えない充実感を感じながらの帰宅でしたが、信州の城下町の街角で、映画のポスターを見たのを思い出し、若者たちの素晴らしさが発揮され、輝きを放ち続ける日本であってほしいと願う今日この頃です。機会があったら映画『ラストゲーム 最後の早慶戦』をご覧ください。

今度は慶応側から慶早戦を眺めてみよう。違った景色に出会えるかもしれない。

1 マラソン大会(11/8)

絶好のマラソン大会日和の中、国営武蔵丘陵森林公園で、第37回マラソン大会を実施しました。森林公園のマラソンコースを男女とも10kmを走りました。男子の発走に次ぎ、女子の発走があり、西高生一人一人が自らの力を発揮し、納得のゴールをしました。



男子・女子スタート





男子・女子優勝者ゴール

2 上木崎小学校との交流(11/9-10)

上木崎小学校との交流事業で西高生12名が小学3年生の4クラスで授業等の補助を行いました。1日目は、最初は全員緊張気味でしたが、時間がたつにつれて小学生とも打ち解けてきたようです。2日間の交流ではクラスの子供たちともやっと慣れてきたところですがお別れです。上木崎小学校の先生方、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。西高の生徒達も将来の夢(教師)の実現に向け気持ちを新たにしたいようです。



3 斜面林保全活動(11/12)

毎月実施の斜面林保全活動を今月は12日(土)に行いました。保全活動の皆さん、先生方、参加してくれた生徒諸君、本当にありがとうございました。西高斜面林友の会の会員の方が焼き芋を生徒にふるまってくださり、生徒に大好評でした。

午後からは、斜面林保全活動主催の講演会も行われました。講師は、日本ペンクラブ常務理事で西高OBでもある高橋 千劔破(ちはや)さんで、演題は「関東郡代・伊奈半十郎忠治と井澤弥惣兵衛為永～徳川家康の関東政策を語る～」でした。



落ち葉の堆肥を袋に詰める



堆肥を斜面林に返す

4 54年ぶりの11月降雪(11/24)

首都圏では、昭和37年以来の11月の降雪で西高も雪景色となりました。登校時からの降雪で京浜東北線のダイヤの乱れ等も見られましたが、西高生はものともせず登校。予定どおり授業が行われました。路面凍結でけが人が出ないことを願っています。



雪化粧の西高